

場面	人権課題	差別と感ずること(困ったこと)	差別となる行為	合理的配慮(調整・変更)
医療	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 他の人に症状等を聞かれたくなかったが、受付や待合室等で問診された。 大部屋等、他の患者が聞こえるところで病名や症状等の説明をされた。 	<ul style="list-style-type: none"> マイノリティ^{*1}当事者であることを理由に、他の患者と比べて不利益な診療を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> プライバシー保護のため、他の患者がいない場所で問診を行う。 プライバシーの保護等、患者の人権を尊重するための研修会等を実施する。
	LGBT ^{*2}	<ul style="list-style-type: none"> LGBTに理解のある医療機関が少ない。 患者の同性パートナーに対して、病状説明、面会、立ち合い、手術の同意書にサインすることが認められなかった。 自分が望む性別で入院することができなかった。 職場の健康診断時、表明している性別でなく、戸籍上の性別でカウンの色分けがされた。 産婦人科で性行為や妊娠の可能性に関する質問に対して、自分のパートナーが女性の場合、言わないといけなかった。 いろいろな診療科でパートナーとの性交に関する話を聞かれたり、パートナーは男性と想定されるようなことを言われて戸惑った。 セクシュアルマイノリティだけがカミングアウトを求められる。 <p>【トランスジェンダー^{*3}の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の見た目にそぐわない名前(健康保険証に書かれている名前)で呼ばれた。 周囲が先走って、子どもに対して、トランスジェンダーだと判断してしまう。 ジェンダークリニック^{*4}が少ない。 災害時、他の患者と比べて優先順位が低いと思われ、ホルモン療法^{*5}が受けられないことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> パートナーが同性であることを理由に、病状説明、面会、立ち合い、手術同意のサインを認めないこと。 診察時にセクシュアルマイノリティに対する偏見や差別的内容を発言すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の受診は、本人が希望する医療機関(かかりつけ医等)を選択できるようにする。 診察時、セクシュアリティ^{*6}に関する質問をする場合は、その目的を丁寧に説明する。 異性愛者であることを前提としない。 性的違和がないことを前提としない。 本人が希望する名前で対応する。あるいは、病院全体で患者の個別認識に名前を使わないようにする。 入院時、本人の希望する性別での入院を認める。または、追加料金なしで、個室の利用を認める。
	外国人	<ul style="list-style-type: none"> 健康保険証を持ち合わせてなかったことで、診療拒否をされた。 通訳を連れてこないと言われた。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人であることを理由に診療を拒否すること。 日本語が理解できないことを理由に診療を拒否すること。 通訳をつれてこないことを理由に診療を拒否すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語が理解できないからと診療を拒否するのではなく、通訳派遣、電話対応通訳等を実施する国際交流機関等がないかを調べ、外国人患者の受診に備える。 同行通訳者がいないからと一律に受診拒否するのではなく、丁寧に対応し、どうすれば診察に必要なコミュニケーションをとることができるかを考える。 医療従事者に対して外国人の人権を理解する人権研修を実施する。
	HIV陽性者 ^{*7}	<ul style="list-style-type: none"> 地元で通える歯科や透析クリニック等のかかりつけ医が見つからなかった。 風評被害の恐れを理由に診療してくれなかった。 医療従事者が丁寧に対応してくれなかった。 個人的なことを興味本位で質問され、嫌な気持ちになった。 検査や受診時にプライバシーが守られなかった。 HIVは特別な人・危ない人がかかる病気と言われた。 <p>【検査・告知】</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査時に検査説明や情報提供、カウンセリングがなく検査することになり、不安になった。 同意なく無断で検査されたことや、十分な説明やカウンセリングが提供されずに検査されたことで、結果を告知された。 検査結果を同意なく第三者(パートナー、家族、同伴者、職場の人等)に伝えられた。 <p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査機関で陽性告知後、紹介状だけ渡され、医療機関へ行ったが診療拒否された。 地域の医療機関で受診を断られた。転院させられた。 歯科診療所で診療を拒否された。 「海外へ売春に行く人が多く発症するので、心配しなくていい」と医師から言われて、嫌な気持ちになり、その医師に対して不信感を持った。 <p>【介護福祉施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護施設への入居や介護サービスの提供を拒否された。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染したことを悪いことや自業自得と考え、責める等の対応すること。 感染の原因を特定しようと興味本位で質問すること。 陽性者を感染源と考え、他者への感染を予防することばかりを指導すること。 <p>【検査・告知】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本人の同意を得ず、本人の自己決定を無視して検査を実施すること。 検査前後に十分な説明やカウンセリングをせず結果を告知すること。また、医療や福祉、支援等について情報提供しないこと。 本人の同意なく結果を第三者に伝えること。 <p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識不足や偏見により、診療拒否したり、転院を求めたりすること。 <p>【介護福祉施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正当な理由なく施設の入居やサービス提供を拒否すること。 感染症全般に対する拒否感や偏見、知識不足により、HIVに限らず感染症と共に生きる人へのサービス提供を断ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 疾患に対する理解・共感を深める努力を受け入れ施設全体で取り組む。 プライバシーを守り、プライバシーが守られることを伝える。 <p>【検査・告知】</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査前後に十分な説明・情報提供とカウンセリングを行い、インフォームド・コンセントを得た本人の自発的・主体的な検査を実施する。 検査結果は本人の大切な個人情報であることを認識し、受検者の明確な同意なしに検査結果を第三者へ提供しない。 <p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療拒否が起らないよう、HIV感染症を正しく理解するための研修を行い、HIV陽性者の受診受け入れ体制や標準予防策等を整備する。 <p>【介護福祉施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> HIV感染症の知識を得る研修を行い、正しく理解し、福祉サービスの提供やケアが可能であることを認識し、受け入れ態勢や環境を整える。
	血友病 ^{*8}	<ul style="list-style-type: none"> 医療(入院加療)から福祉(施設入所等)へ移行する時、療養施設・老健施設等で受け入れ拒否があった。 地元で通える歯科や透析クリニック、整形外科医等の診療機関が見つからなかった。 血友病専門医ばかりでなく、血友病に理解のある整形外科医等の専門医が少ないこと。 保健師やカウンセリング担当者、採血担当者、医療従事者が丁寧に対応してくれなかった。 個人的なことを興味本位で質問され、嫌な気持ちになった。 検査や受診時にプライバシーが守られなかった。 いまだに「血友病=AIDS」という認識・無知があり、差別を引き起こしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識不足や偏見により、診療拒否したり、転院を求めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 疾患に対する理解・共感を深める努力を受け入れ施設全体で取り組む。 プライバシーを守り、プライバシーが守られることを伝える。
見た目問題 ^{*9}	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスは障害者手帳保持者や医療的な治療が必要な状態への支援のため、日常生活の様々な場面における困難さを抱える見た目問題の当事者ニーズには対応せず、費用面の負担等に困る。 <p>【アルビノ^{*10}】</p> <ul style="list-style-type: none"> 晴眼者ほど見えてるわけでもないけど、視覚障がい者の枠にも入りにくい人などグレーゾーンの人は、行政サービスが受けにくい。 専門の医師が少ないこと。 弱視のため、問診票や検査説明書等の文字が小さくて見えにくかった。 眼科で他の患者と同じ場所で視力検査を受けるため、アルビノの症状による見えにくさについて、他の患者に知られることになり嫌だった。 眼科医がアルビノについて理解がなかったため、来院した原因の検査ではなく、不要な検査を受けさせられ、時間や費用の負担が大きかった。 <p>【脱毛症】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療用ウィッグは福祉支援の対象外(健康保険の適用外)で、人(症状)によっては高額なウィッグを貰わざるを得ず、費用負担がしんどかった。 <p>【眼瞼下垂】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見た目問題の情報不足により、形成外科の保険適用を知らず、保険対象外的美容整形で手術された。 	<p>【アルビノ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんの場合、病院から祝福ムードが壊れるからという理由で、保育器に入れることを断られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉関係者の見た目問題への理解を深めるための学習・研修等を行う。 <p>【アルビノ・眼瞼下垂】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問診票や検査説明書等は文字を大きくする等して読みやすいように作成する。 プライバシー保護のため、他の患者がいない場所で視力検査等を行う等、本人に希望を聞いて調整する。 視覚障害者(児)手帳の取得には至らないものの、日常生活の困難を緩和するメガネ等補助具への助成制度を設ける。 <p>【脱毛症】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療用ウィッグへの助成制度等福祉サービスの充実を図る。 	

場面	人権課題	差別と感ずること（困ったこと）	差別となる行為	合理的配慮（調整・変更）
	部落問題	<ul style="list-style-type: none"> 文字を学ぶことができなかったため、問診票の内容や検査の説明書を理解できなかった。また問診票が書けなくて困った。 問診票に住所を書くことをためらった。 大きな病院で治療が必要だったが、地域の診療所でしか受診したことがないため病院に行くことをためらった。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明書が読めないとか、問診票が書けないことを理由に、診察を断ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 問診票を理解してもらい、記入してもらいやすいようにサポートする。また検査について本人がきちんと理解できるように丁寧に対応する。
保険（公的保険・民間保険）	LGBT	<ul style="list-style-type: none"> 【公的保険】 公的医療保険による性同一性障害（GID）の性別適合手術※11は、ホルモン治療歴があると保険適用外となるため、保険が使える当事者がほとんどいない。 【民間保険】 同性パートナーが保険金の受取人になれないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間保険が、GIDであることを理由に、加入を拒否すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ホルモン治療を含む、GID治療全般を保険適用とする。
	外国人	<ul style="list-style-type: none"> 【公的保険】 在留期間が切れた非正規滞在状態であるために、病院を受診しづらい。診療拒否される場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 【公的保険】 非正規滞在者を健康保険制度から一律に除外すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 【公的保険】 在留期間が過ぎて非正規滞在者になった場合でも、更新や延長を求めて裁判や入国管理局へ再申請し、在留期間更新を求め引き続き日本で生活している人がいる。そういった人たちに対しては、柔軟な保険適用を実施する。 非正規滞在者となった理由は様々であり、強制退去に至る間の医療保障として、無料定額診療制度等適用拡大する。
	HIV陽性者※11	<ul style="list-style-type: none"> 【民間保険】 健康告知で、保険に加入できないこと。 自分の情報を告知することで断られないか心配で告知できない。 生命保険の加入相談で、加入できないと言われた。 	<ul style="list-style-type: none"> 【民間保険】 相談に丁寧にに対応しないこと。また十分に情報収集せず、HIV陽性者は生命保険に加入できないと断言すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 【民間保険】 生命保険の引受保険会社や保険の加入条件等の内容を調べ、情報提供する。
	血友病	<ul style="list-style-type: none"> 【民間保険】 健康告知で、保険に加入できないこと。 自分の情報を告知することで断られないか心配で告知できない。 生命保険の加入相談で、加入できないと言われた。 	<ul style="list-style-type: none"> 【民間保険】 相談に丁寧にに対応しないこと。また十分に情報収集せず、血友病患者は生命保険に加入できないと断言すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 【民間保険】 加入できない疾患を明記する。 生命保険の引受保険会社や保険の加入条件等の内容を調べ、情報提供する。
	見た目問題	<ul style="list-style-type: none"> 【民間保険】 <アルビノ> 子ども(アルビノ当事者)の学資保険に加入しようとしたところ、断られた。 生命保険に加入することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> アルビノを理由に、保険の加入を断ること。 	<ul style="list-style-type: none"> アルビノ当事者が保険加入できるようにする。
	部落問題	<ul style="list-style-type: none"> 【公的保険】 文字を学ぶことができなかったため、保険の説明書が読めなかったり、内容が理解できなかったりして困った。また提出が必要な申請書類が書けなくて苦労した。 【民間保険】 保険に入る文化がなかったので、生命保険や医療保険に加入するメリットが分からなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明書が読めなかったり、申込書がかけなかったりすることを理由に、保険の加入を断ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明書を説明したり、申込書の記入をサポートしたりする。
年金	LGBT	<ul style="list-style-type: none"> 同性パートナーは第3号被保険者として扱われないこと。 同性パートナーは遺族年金が受け取れないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 同性パートナーは第3号被保険者として扱われないこと。 同性パートナーは遺族年金が受け取れないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 同性パートナーは第3号被保険者として扱う。 同性パートナーは遺族年金が受け取れるようにする。
	外国人	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍であるために国民年金に加入できず、老齢基礎年金や障害年金が支給されないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本が難民条約に加入する1981年以前は、外国籍者は国民年金に加入することができなかった。外国籍者が国民年金に加入できるようになった1982年1月1日時点で、35歳以上の外国人は加入しても25年間掛け期間に満たないために老齢基礎年金が支給されないこと。またその時点で20歳以上の外国人高齢者は障害福祉年金が支給されないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 1951年11月1日国民年金法施行時には、左記のような状況にあった日本国民には、国民皆年金のために無拠出で適用されることになった。同様に外国籍者についても措置がはかれるようにする。
	HIV陽性者	<ul style="list-style-type: none"> 行政窓口担当者から障害年金は受けられないと門前払いにされた。 HIVについて理解していない担当者に「障害年金の申請しても断られるよ」と勝手に判断された。 	<ul style="list-style-type: none"> 申請者に受給できないと主観により判断してしまうこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口担当者は主観をはさまずに、申請の意味・方法をしっかり説明する。
	血友病	<ul style="list-style-type: none"> 行政窓口担当者から障害年金は受けられないと門前払いにされた。 	<ul style="list-style-type: none"> 申請者に受給できないと主観により判断してしまうこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口担当者は主観をはさまずに、申請の意味・方法をしっかり説明する。
	見た目問題	<ul style="list-style-type: none"> 見た目の症状によっては、障害者年金の対象にならず、かといって生活保護の対象にもならず生活費に困った。 		<ul style="list-style-type: none"> 障害者年金の対象にならない制度の狭間にある見た目問題の当事者への何らかの公的な生活支援費を検討する。
	部落問題	<ul style="list-style-type: none"> 差別による不安定就労等により、無年金の高齢者がいること。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活状況に対応した支援策を行う。

<場面設定>

医療や保険に関わる場面を以下のように分けています。

- 「医療」…医療サービスに関する場面。
- 「公的保険」…公的保険の加入や申請、受給などに関する場面。
- 「民間保険」…民間保険の加入や申請、受給などに関する場面。
- 「年金」…年金の加入や申請、受給などに関する場面。

<用語説明>

※1 マイノリティ…社会の関係において弱い立場にあることで、差別を受ける立場にある人や集団。

※2 LGBT…Lesbian（レスビアン：同性を好きになる女性）、Gay（ゲイ：同性を好きになる男性）、Bisexual（バイセクシュアル：異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある人）、Transgender（トランスジェンダー：心（性自認）と体の性が一致しない人）の頭文字をとった、広く性的マイノリティの立場を含む呼称。

※3 トランスジェンダー…心（性自認）と体の性が一致しない人のこと。性同一性障害と診断されている人も含む。

※4 ジェンダークリニック…性同一性障害の診断を出すことができる精神科の病院。

※5 ホルモン治療…性ホルモンを処方する治療法のこと。性同一性障害の診断を受けた場合、ホルモン治療を受けることができる。

※6 セクシュアリティ…人間の性のありようのこと。

※7 HIV陽性者…ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染した人であって、HIVに対する抗体が陽性である状態。AIDSは後天性免疫不全症候群の略、つまり病態を示している。

※8 血友病…出血した血液を固めるために必要なタンパク質が不足して、血が止まりにくい病気。血友病患者は、止血のために必要な血液凝固因子の一つが遺伝的に不足している。

※9 見た目問題…顔や身体の生まれつきのアザ、事故や病気によるキズ、やけど、脱毛など「見た目」に症状があるがゆえに日々ぶつかる問題。

※10 アルビノ…生まれたときから色素がないか、極端に少ない状態の人や動物のこと。

※11 性同一性障害（GID）の性別適合手術…2018年4月に公的医療保険の適用を開始。現制度では、ホルモン製剤の投与を一連の治療において実施する場合は混合診療となることから、ホルモン治療歴が一度もない症例に対してのみ保険が適用される手術となっている。